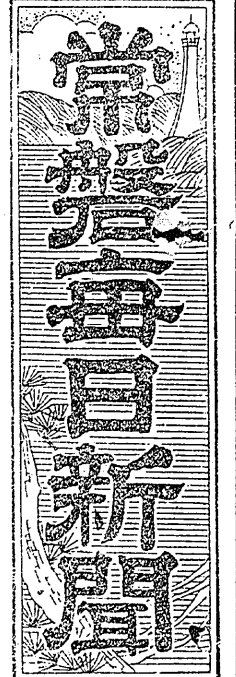


刊夕 日七十月一



第一版 第二版 第三版 第四版 第五版 第六版 第七版 第八版 第九版 第十版
 本紙は東京市本町二丁目三番地常盤宮日新聞社にて発行せらる。電話二二七番。代印代送あり。郵政特准掛物郵便。定額五銭。日曜祭日の懸日休刊。本紙の発行所は東京市本町二丁目三番地常盤宮日新聞社。電話二二七番。代印代送あり。郵政特准掛物郵便。定額五銭。日曜祭日の懸日休刊。

今日此頃感ずること

(三) 國田 芳夫

畑は作男を雇つて自ら耕作した。蔬菜の外は麥や豆や、桑が主であつた。豆から味噌醬油も自分の家で作つた。貸家も五、六軒あつた。母親の丹精で養蠶も春夏二回やつたが上り高は藪の相場にも依ることだがよくて二百圓足らずのものかと小耳に聞き拵んで居る此爾代と家賃の上りが當時高等學校か大學かへ這入つて居つた兄の學資に當てられたらしく思ふ。先づこんな半農半商の、云はば中流所の家に平和な幼年時代を過した。然し之は永く續くことが出来なかつた。元來一枚看板の糸の賣口錢にしてから、甚だ少いものであつた。一包の値段は二圓内外であつたと記憶して居るが儲けは十錢にも足りぬと母親の愚痴を聞いたものだ。比較的口錢のよかつたらしい地木綿や、棉し、私が明治三十四年中學校に入る頃になると「下り木綿」に押されて丸で駄目になつた。青梅綿などの器械打の綿が割安にドンドン這入り込み、又田舎の人も段々手織木綿では満足しなくなつたらしい。而も東京物は格安であるが

ら、地織木綿を顧みる人は殆どないやうになつた。此の頃になつて知つたことだが、此「下り木綿」の正體は遠州綿であつた。濱松附近一體は元來工業を興すに必ずしも有利の土地ではないが、それだけ土地の人に努力奮發の風がある。綿織物を駄馬に積んで箱根を越して東京へゆき、それから東北へ、東北へと遙に奥州の雪の古川へ迄販路を開拓し來つたのである。事茲に至

ノット

柚子は一般に皮だけしか食べぬが身を搾つた汁を料理に使ふと酢よりも風味がある塗れば輝にも効く

つては私の生家の商賣は立ち行く道理がない。家業を繼いだ義兄の人は柄は極めて堅物で、酒も飲まず、無駄費せず、朝から晩迄一生懸命商賣の事に精出して居る。

席題「みかん」高月句會

だんだらの密柑畑や富士映ゆる
 珍客にもてなす卓のみかんな
 塵溜に凍りて赤し皮みかん
 風呂敷を解けばこぼるるみかん哉
 みかんむく子の手や赤くふくれけり
 酸さ甘きみかんのむくや炬燵上
 芝居はねみかんの皮の狼藉す
 年越のみかん磨りて本箱の隅
 みかんむいて附録に遊び興じけり

鐘樓 芝草 千鳥 良亭 秀峰

害者に太刀打が出来ない時の流れで已むを得ない、仕儀であらうか。抑も又一介の駄馬と共に身軽々と恰も風の隙間をものがるが如く何處へでも飛んで行く事が悪いのであらうかそれともさうもしなければ喰つて行けない隣れな我身の上を叩つべきであらうか。



都の母校へ

飯村開舟
 A 希望に築く
 吾等が校舎
 遠い理想に
 時計塔の
 針は廻るよ
 B ぐるぐる廻る
 廻る針には
 吾等も動く
 希望は溢る、
 理想の進境
 めざせ めざせよ
 ぐるぐるめざせ
 C 希望に築く
 吾等が校舎
 アイアンハートに
 鍛えた理智を
 磨け磨けよ
 ぐるぐる磨け

木村外科醫院

平町五丁目橋際
 電話九〇三番

科病柳花 科兒小 科内
 院醫 沼藤

町屋紺町平
 番七〇五話電

需應院入

美味! 芳醇!
 宗正らひた

山崎合名會社
 電話一〇番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五三三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

東京工場

聯盟の自轉車

指定販賣所 フタバ商會
 平新川町・橋際

貸切の御用命は!!!

(獅子吼) 四四九ノ勢デ
 (マツサキ) 眞先ニ
 ミクニ 三九ニタクシーへ!!!

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會
 平町町六九
 電話二二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さり。

製材所問題

一先づ解決

建議案を撤回

調停委員を擧ぐ

色川火力製材所問題に關する繼續町會は本日午後一時半より會議室に開會製材設備の調査結果に關し鈴木光吉氏より

調査未了の旨の報告あり次いで佐々木龍若氏が事態の圓滿なる解決を告げる關係上建議案を撤回すべく好意的の勸告に基き建議者の馬目兩君がその意を諒

道路の方向

平町五ヶ所に

指導標を建設

平土木監督所は自動車其の他の往來が煩繁であるに拘らず管内には來だ道路の方向を示す指導標札がないので來月早々より平町に五ヶ所外管内二十七ヶ所の道路に方向標を建設する事になつたと

平商の

書初展

入賞者決定

既報平商業學校第一回書道展覽會は本日より同校講堂に開催係教諭審査の結果

木田英夫、緑川泰次、武藤一男(五年)四家筆、志賀謙二、山田定、渡邊務、柚木秀雄

卓球申込

五六十名あり

既報來る二十八日午前九時より平第三小學校講堂に於て同校卓球部主催の下に開催される第三回郡下個人選手権卓球大會の申込は目下

卒業後の進路

特徴を伸ばせと

篠山第一校長が語る

卒業兒童の進路に關し親達への注意に就いて平第一小學校長篠山廉氏は左の如く語つた

卒業兒童の進路は家庭の事情等に依つて様々な方面に向けらるゝ事だらうがよく子供の特徴を考慮し夫々得意な方面に進ませ

塾中の受験指導

各教諭が放課後二時間宛

塾中では高等學校及び各種専門學校の入學試験期日も間近に迫つたので目下左記係教諭指導の下に毎日放課後二時間宛課外教授を行つてゐるが受験生は高等學校三十七名、各種専門學校二百三十六名で昨年比し約五六十名の増加を示してゐると

福島音頭

金光堂賣出

五丁目金光堂時計店では今賣出しの福島音頭を始め東京音頭、昭和音頭等のレコードを取揃へ流行歌萬能の賣れ行きを示してゐる

殿中揚は

美味で安價

平一丁目藤寅考案の「殿中揚」は一般家庭惣菜用及びおでん、鍋焼の材料に最も好評で美味の割に値が僅か一本三錢といふ安價

平町人事

回出生

△三丁目二十 當時横濱市磯子區原町三八菊地喜八氏三女三代子

平百面鏡

衛生的な

根本時計店擴張田町の營業所が祝融氏に見舞れて以來二丁目本通に移轉した根本眼鏡時計店では過般店頭を擴張し最も衛生的な檢眼室の設備を構じ眼鏡販賣に新機軸を出し一般より好評を博して居る

木炭部を

市原商店に

平一丁目海産物商市原商店では此程木炭部を設けお客本位に出して居る、電話二四四番

井坂醫院

科人婦科外 町田町平 番九五五話電

長唄

花柳流 御稽古 おすゝめ 致しま

難波醫院

平町大町 電話五〇二

木炭部

設置致しました お客様本位に勉強いたしますから 何卒御用命は

電話二四四番へ

市原商店

平一丁目

感冒流行に

小學校の對策

授業開始を遅らす

平町各小學校は昨今の寒さの襲來と共に感冒の流行が激烈である爲め昨日から約二週間毎日午前九時始業に改め朝禮朝會の豫習及び放課後の自習を廢しマスク吸入等を奨励して居る

古川橋工事

三月末開通

飯野村大字北白土南白土間を通ずる工費八千九百圓の古川橋は目下工事を急いで居るが三月卅一日までには竣工開通する筈にて完成後は平町、夏井方面との交通に便益が多い

坑夫合宿

入山で新設

湯本町入山炭礦では第四坑の傍らに會社直轄の坑夫合宿所を設けたが一日食費四十錢で現在五十餘人が居住し好成績であると

犯罪被害は

五萬三千圓

平署昨年中に

平署管内に於ける昨年中不犯罪被害高を見ると總額五萬三千五百七十六圓九十五錢で被害の最も多いのは詐欺の二萬六千五百九圓二十五錢、窃盜が一萬二千四百五十八圓十二錢、其他合計一萬五千四百七圓六十七錢に及んで居ると

津田校長講話 既報

平第二小學校では本日午前

を増す理由の一つ併合反對の意志を表明し委員九名を擧げて反對運動を起す事となつた

工場荒し

平署で自白

内郷村大字小島宇新町住居西白川郡吉子川村生れ窃盜前科一犯鹽田清美(三)は去る十三日立町山田鐵工場より鑄物二十八貫窃取した外同様手段で平内郷等の工場より五件の窃盜を働いた事

常春の國

磐女の花壇に

百花咲き亂る

毎日生徒等の優しい丹精の効ひあつて

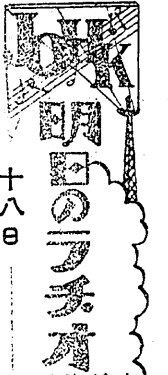
磐女園藝部では既報の如く同校志村教諭が主となり各生徒が毎日放課後交る々々花壇の手入を行つてゐる爲め目下萬目荒涼たる嚴寒期に同校の花壇のみは櫻草其他種々の草花が咲誇り常春の感を呈してゐる

街頭圖書館など

鷄鳴會の本年度事業

四倉町鷄鳴會では昨十六日午後七時より同町青年會館に於いて例會を開き本年度計劃事業として左記諸案を決定した

- 一 會の信修制定の件
- 一 珠算競技會開催の件
- 一 野球大會開催の件
- 一 街頭圖書館開設の件



明日のラジオ

今晚も明日も北西の風晴曇半す

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇(子供の時間) 獨唱と管絃樂 獨唱 松原 操 指揮 小松平五郎
 - 後六、二五 基礎佛話講座 (一) 目黒三郎 演
 - 後七、三〇 講演 演
- #### 明日の部
- 後八、〇〇 ピアノ獨奏
 - 後八、二〇 説教源氏節
 - 後八、五〇 連續浪花節 (第一席) 木村重友
 - 後九、三〇 時報 ニュー ス 氣象通報 番組豫告

日蓮宗寺院の

所屬宗派調査

山二四無職綿引司馬之介(四)錦村生れ當時平町長橋町四七株式賣買業正木昌太郎(九)湯本町生れ平田町五無職松本清之丞(三)の三名に對する恐喝事件は舊臘二十八日豫審終決第一回公判

馬代金を横領 内郷村大字宮字竹ノ内七三好間村生れ牛馬商佐藤留四郎(七)は去月五日平町町深谷啓次郎より馬の買入金として廿六圓を受取り横領費消し目下平署で取調中である

- #### 皇國精神作興運動の件
- 一名士講演の件
 - 一 郷土の榮改訂發行の件
- #### 裁判所だより
- △既報茨城縣那珂郡國田村生れ當時内郷村大字綴字秋四圓
 - △女中 十八才 尋卒 月三
 - △行義見習 廿一才 高卒 月六圓以上
 - △外交員 三十五才 尋卒

- 後五、三五 受験講座「國語」吉川秀雄
- 後六、〇〇(子供の時間)「ある日の夢」長崎お伽俱樂部
- 後六、二五 英語講座(二)若杉三郎 演
- 後七、三〇 講演 演
- 後八、〇〇 ヴァイオリン獨奏「ヴァイオリン協奏曲」アレキサンダーモギレフスキー
- 後八、四〇 尺八獨奏「寒夜鈴慕」上田竹童
- 後八、五〇 連續浪花節 (第二席) 木村重友

印刷御用命

常警日刷印刷株式會社

電話三六〇番

大和田醫院

耳鼻咽喉科専門

平町南町 電話一〇七

市原醫院

平町田町 電話一四番

自由の讀める

五冊の雜誌が 御希望通りな

一冊の代金で

自由の讀める

川崎回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第三百三十四回

徳川家に崇る村正

サテはあの男か

検視の上、鈴木重兵衛の死體は其の遺族へ引渡される、妻のおそのに伴重太郎の悲しみは申すまでもありません、何卒して父重兵衛の怨みを晴らしたいと思ふが、さて何物の所業か更に手掛りがない、重太郎は無念此の上なく種々考へてをりましたが、ふと思ひ附いたのは人を殺して金を盗るやうな者は、悪事を重ねて行く内に、遂には御上の御厄介になるは必定、悪人を召捕る役人になつてゐたらいつか親の敵にも出遇ひ、夫を召捕つて父の仇討をする事が出来るかも知れない斯う考へましたから、母のおそのにも相談をして承諾を受け貸金の方は利を付けて元金だけ取戻すといふ風にしてどうやら片をつけ傳手を求めて八丁堀の同心の株を買つて、役人となり、何卒して父の敵を探し出したいと勵んでをります、此方は溝口五左衛門、三十七兩の金が入つたから、又々吉原の萬字樓へ通つて行つて、雲井といふ女に入上げてゐる、奥さんのおさだが見意見をするが、耳もか

い、するとある日、吉原から歸つて来て、一寝入りしてゐる處へ、小普請組頭の太久保左内の許から使ひが来て久し振で一石鳥鷲を戦はしたいから来て呉れろといふ迎ひ、迷惑とは思つたが組頭に取り入つて置けば

が餘り違ひすぎると面白くないものだ、近頃サツパリ見えんので案じてをつた、別に變りはないか
五「ハイ、御無沙汰を致して申譯がございませぬ、お頭も何時も御壯健でお目出度うございませぬ」
左「有難う、然しさういふ堅苦しい挨拶は抜きにしやう、待ちかねてゐた處だサア、碁盤の用意も出来てゐる、直ぐに一石やらうではないか」
五「ハイ、お對手を致しませう」
左「コレ、一合戦致したら兵糧を使ふからな、酒肴の



何かの時に役に立つと考へたから、迎ひの者と連れ立て大久保左内機嫌よく左「イヤ溝口能く来て呉れた、碁敵は憎さも憎し懐かし、よく云つたものだ、拙者より貴公の方が一二目強い、兎角斯ういふ事は段

用意として置けよ」
夫から大久保左内と溝口五左衛門が碁盤に向つて、バチリ／＼打ち始めた、左内は一二目と云つたが、夫は五左衛門が遠慮をしてゐるからで、十目位の違ひ

左「溝口、大分手きびしく攻め立てるな」
五「イヤまだ／＼斥候の小競合、之れからが敵味方共軍帥の懸引に依つて勝敗が決するので」
左「大きにさうだ」
瀕りに二人がバチリやつてゐると、次の間へ入つて来て兩手を仕いた商人の體の男が
〇「ハイ御無沙汰を致しました、毎度御最良様に有難う存じます」
左内がヒョイと見て

して下さいました、ツイ好きなものですから、お酒を少し過ぎました、お水大分酔ひました、お暇を告げて堤をブラ／＼戻つて来たのでございませぬが、どうも苦しくつて堪りませぬ夫から少し休んで行かうと存じまして丁度三圍様の上の處で大きな櫻の木がございませぬ、其の根方へ腰を下して休んでをりますと、モウ日が暮れて薄ら暗くなつた時分で武士姿の追剝が二人連れで突然刀を抜いて私へ斬つて掛りました」
左「夫は怪しからん事だな……」
其の話を聞いて五左衛門が扱つてはあの時の町人が飛んだ者に出遇つたと顔を反けた。

看護婦急派の求めに應じます

平看護婦會

平町南町 電話三〇七番

美味で！
評判の……

イワキ

サロン

電 352

外科 X 光線科

性病科
外科科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮 温 湯

丹波博士創製セキドメ

たんばあめ

靈藥ムテキ

平町古銀治町一〇

阿康藥舖

縣社ノ下 電話四四番

吸入用酸素純度 99%

度量衡

モノサシ
ハカリ

寒暖計

体温計

開内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス